

後期生徒会役員が決まりました

今日の6限目に後期生徒会役員に立候補した皆さんによる演説会が行われました。定員7名に対して7名の立候補者だったので、無投票当選となりましたが、7人の候補者からはそれぞれの想いを聴くことができました。簡単に紹介したいと思います。



会長: 関谷優那
普段から笑顔で明るい挨拶を心がけ、明るく積極的な学校にしていきたい。



副会長: 安田健能
前期会計を務めていたが挨拶に関連した活動があまりできなかったので、リベンジしたい。



副会長: 吉田佳奈
挨拶や2分前着席などに力を入れて、明るくけじめのある学校にしたい。



書記: 垣内理菜
生徒同士の挨拶を増やし思い出に残る行事を創っていきたい。



書記: 木村晴
もっと明るい言葉を増やし、挨拶が自分からできる学校を目指したい。



会計: 宮野航太郎
挨拶に力を入れて、泉中を活気のある学校にしていきたい。



会計: 小西梅巴
「おはよう」以外の「ありがとう」や「ごめんなさい」などの挨拶も大事にしていきたい。

生徒会役員は自分たちのクラスや学年だけでなく、学校全体をよりよくするために考えて行動する立場にあります。責任も大きいと思います。演説を目の前で聴いていましたが、全員とても緊張していました。全校生徒の前で話をするのですから無理もありません。

そんな役職に自ら挑戦しようとしている人は純粋に素晴らしいなあと思うし、まずは皆さんでしっかり応援しましょう。また、前期の皆さんも運動会成功に向けて頑張ってくれているので、みんなで力を合わせて運動会を大成功させましょう！

もう1人演説者が…

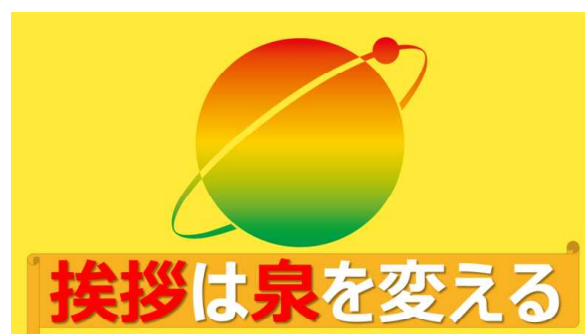
7人の演説が終わった後、「立候補者の気持ちのこもった演説に、先生も気持ちのこもった演説をしたくなりました。」と白井先生が登場。

この泉中学校にとって挨拶がどれほど大切なものか、もっともっとレベルアップして、学校を変えていきたい。そんな想いを熱く語ってくれました。

そのために「挨拶ピラミッド」を紹介し、挨拶の基準を先生や生徒の皆さんで共有しました。



- ◆レベル0……挨拶されても素通りする、会釈するだけ、言っているが声が小さくて相手に伝わっていない
- ◆レベル1……相手に言われてから挨拶を返す(伝わる声で)
- ◆レベル2……自分から先に挨拶する
- ◆レベル3……授業や部活を受け持たれていない先生、学校に来られるお客さん、地域の方などにも挨拶する



白井先生の演説後に、各クラスで1人1台端末を使って、今の自分の挨拶のレベルはどれかを調べました。

その結果は、来週発表されるそうですが、今の状態からどれだけレベルアップができるか、校長先生も本当に楽しみにしています。

合い言葉は『挨拶は泉を変える』ですが、これは決して大げさではなく、本当にそうなると思います。

例えば、これまで自分から先に挨拶できなかつた人が、それを実行するのはかなり勇気がいることだと思います。でもその勇気をふりしぼってできたときは、その人の何かがきっと変わります。授業中に自分の意見を言えるようになるかもしれません。試合の大事な場面で、今まで弱気だったのに、自分から積極的に攻めることができるようになるかもしれません。

生徒の皆さん一人一人の挨拶がレベルアップし、泉中学校がどんな学校に変わっていくのかを考えるとワクワクしてきます。

